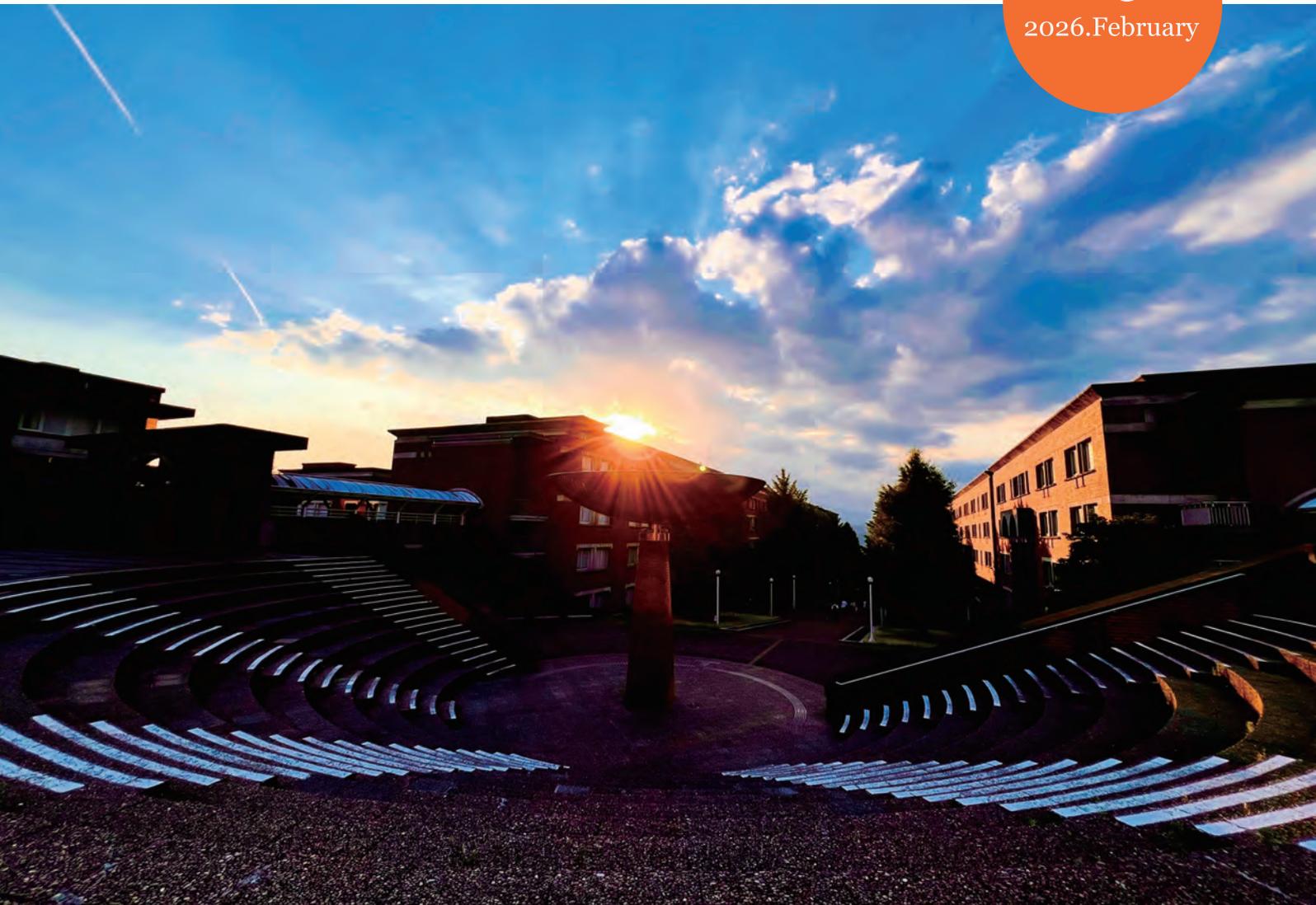


# はばたき

No.152

2026.February



第29回文芸コンクール写真部門 最優秀賞  
「辿り着いた光」 黒田奈那（看護学部1年）

## CONTENTS

特集① 静岡県立大学 研究ハイライト	p03
特集② OB・OG インタビュー 太田 克樹さん	p04
CAMPUS TOPICS	p05
サポーターズクラブ	p09
Beyond the World 静岡県立大学の国際交流	p10
研究室訪問 国際関係学部 田村 敏広 准教授	p11
活躍する卒業生 西澤 慈さん	p13
活躍する在学生 短期大学部 犬塚 功真さん・中村 有那さん	
産学官連携	p14
はばたき寄金からのお知らせ	p15
図書館だより	p16
奨学金授与式	p17
Information	p18

## 特集①

# 静岡県立大学

# 研究ハイライト

今年度静岡県立大学の教員が発表した研究成果を紹介します。  
(掲載順不同)

### 食品栄養科学部 食品化学研究室

伊藤 圭祐 [准教授]、寺田 祐子 [助教]

## “おいしさ”を設計する フードペアリング AI を開発

従来のフードペアリング理論では「共通する香気成分が含まれる」ことが食品・食材の相性指標とされてきました。本研究ではこの考えを発展させ、“香気成分の持つ香りの言語表現の類似性”を元に迅速、簡便かつ客観的に風味相性を数値化できるAIを開発しました。本技術は、これまで人の経験や感覚に頼ってきた食品開発に革新をもたらす新しい風味解析技術として注目され、ベンチャー企業（合同会社 DigSense）を通じて企業各社で活用されています。

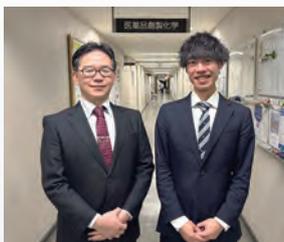


### 薬学部 医薬品創製化学分野

濱島 義隆 [教授]、山下 賢二 [助教]

## ケトンの新たな光触媒機能を発見 ～環境に優しい医薬品開発を推進～

私たちの研究グループは、ケトンと呼ばれる化合物の新しい光触媒機能を発見しました。この新機能を用いることで、医薬品合成の出発原料として有用なカルボン酸を効率的に化学変換することに成功しました。今回開発した化学反応は、持続可能でクリーンな光エネルギーを駆動力としているため、環境調和型の医薬品開発が実現できると期待されます。

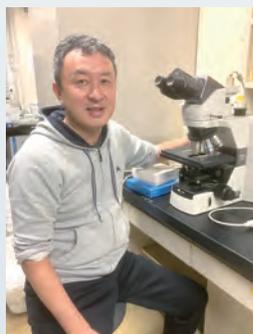


### 薬学部 分子病態学分野

刀坂 泰史 [准教授]

## 新しい薬となる種（シーズ）を探して

世の中には薬で治療できない病気が数多く存在します。新しい薬を開発するには、病気の原因を解明することが必要です。私は病気の鍵となる分子を発見する研究を行っています。こうした研究成果は、病気のメカニズム解明と創薬シーズの発見につながります。今後も線維芽細胞が関わる疾患において、治療標的分子と創薬シーズの探索を続けていきます。

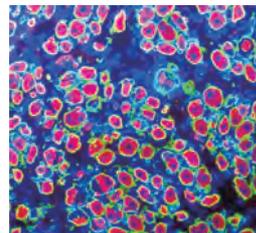


### 薬学部 統合生理学分野

原 雄二 [教授]、平野 航太郎 [助教]

## マグネシウムイオンが筋幹細胞を活性化 —骨格筋の再生促進による健康長寿延伸に期待—

骨格筋の再生を担う筋幹細胞（筋衛星細胞）において、TRPM7 を介したマグネシウムイオンの細胞内流入が、筋幹細胞の活性化を引き起こす最初のステップであり、その結果として筋再生が促進されることを明らかにしました。



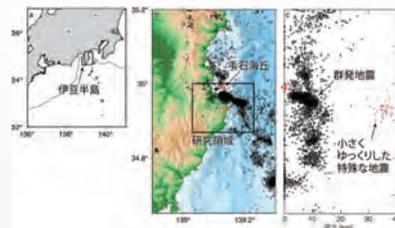
本研究成果をもとに、TRPM7 イオンチャネルやマグネシウムイオンを標的とした創薬研究が進展することで、加齢に伴う筋機能低下の予防や治療につながり、健康長寿の延伸に貢献することが期待されます。

### グローバル地域センター 自然災害研究部門

楠城 一嘉 [特任教授]

## 伊豆半島の地下のマグマの動きを小さな揺れから探る

マグマだまりがあり火山活動が活発な伊豆半島で地震の記録を詳しく調べると、地下深く小さくゆっくりした特殊な地震がたくさん起きていることがわかりました。さらに、マグマが浅い所に入り込んで起きた群発地震の後、深い所のそうした地震が静かになる様子も見えてきました。これらの結果から、この特殊な地震がマグマの動きを知る大事な手がかりになる、という大発見になりました。今後は研究を発展させて、将来の火山噴火に備える観測づくりに役立てたいと考えています。



### 食品栄養科学部 食品蛋白質工学研究室、食品生命情報科学研究室

伊藤 創平 [准教授]、中野 祥吾 [准教授]、千菅 太一 [助教]

## 祖先酵素との融合がモジュール型 ポリケタイド合成酵素の構造解析を可能に

モジュール型ポリケタイド合成酵素は抗生物質としても利用されるポリケタイド天然物合成に関わるタンパク質です。モジュール型ポリケタイド合成酵素は巨大タンパク質であり、その立体構造解析は困難でした。本研究では、モジュール型ポリケタイド合成酵素の一部を祖先タンパク質と置き換えることで、モジュール型ポリケタイド合成酵素の立体構造解析を容易とする手法を開発しました。

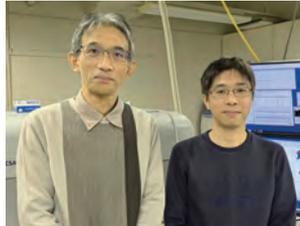


## 薬学部 免疫微生物学分野

梅本 英司 [教授]、中西 勝宏 [助教]

腸内細菌の代謝分子が小腸リンパ組織の  
パイエル板で免疫応答を増強するしくみを解明

薬学部の梅本教授・中西助教らの研究グループは、小腸リンパ組織のパイエル板において、腸内細菌由来の代謝分子であるピルビン酸が貪食細胞に作用する結果、貪食細胞は病原性細菌の通過口である M 細胞に向かって樹状突起（樹の枝のように伸ばした突起）を伸長することを解明しました。ピルビン酸は貪食細胞の病原性細菌の捕捉および獲得免疫応答誘導に寄与します。この成果は、経口ワクチンの開発につながる可能性があり、腸内細菌と免疫の新しい関係を示す重要な発見です。

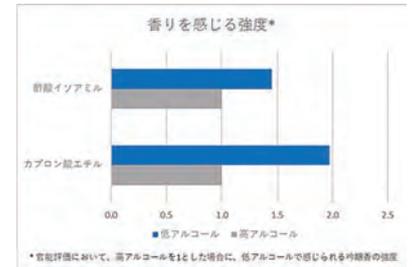


## 食品栄養科学部 食品化学研究室

伊藤 圭祐 [准教授]、寺田 祐子 [助教]

## 日本酒吟醸香へのアルコールの影響を解析

健康志向や飲みやすさから「低アルコール日本酒」が注目を集めています。そこで、アルコール度数の違いが日本酒の香りに与える影響を解析した結果、官能評価および嗅覚受容体解析のいずれにおいてもアルコールによってフルーティな吟醸香が低減することが示されました。本研究は、低アルコール日本酒が持つ香りの魅力を科学的に裏付けるものであり、商品開発においても、アルコール度数に応じた香りの設計に応用が期待できます。

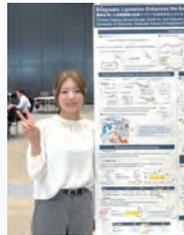


## 食品栄養科学部 生化学研究室、食品蛋白質工学研究室

小澤 日華里 [博士前期課程2年]、宮田 梓 [博士前期課程修了生]、三好 規之 [教授]、伊藤 創平 [准教授]、藤浪 大輔 [助教]、生命創成探究センター／分子科学研究所 林 成一郎 [博士研究員]、加藤 晃一 [教授]

## 抗生物質の活性を高める新酵素の発見と改良

ゲノムマイニングとは、自然界に膨大にある遺伝子から有用遺伝子を発掘する作業です。私たちは、人間の直感と AI 推論を組み合わせ、ペプチドを脂質修飾する新酵素の発見に成功しました。研究チームでの議論を重ねる中で、この酵素を抗生物質の機能強化に応用できるという着想に至りました。二人の大学院生が丁寧に実験を積み上げたことで、酵素の性能を大幅に改良することにも成功しました。本成果は、最先端の情報科学と、人と人との関わり合いから生まれたものです。

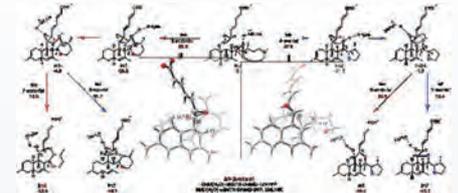


## 薬学部 生薬学分野

渡辺 賢二 [教授]、佐藤 道大 [准教授]

酵素的 anti-Baldwin 則による  
梯子状ポリエーテル合成メカニズムを解明

渦鞭毛藻由来の梯子状ポリエーテル天然物は強力な生理活性を示しますが、その生合成機構は未解明です。本研究では、子囊菌由来ポリエーテル天然物 pyrenulic acid の生合成を解析し、P450 酵素によるエポキシド・末端アルコール形成および  $\alpha/\beta$  加水分解酵素 PyaF によるエポキシド開環・環化機構を解明しました。特に、anti-Baldwin 型環化反応の位置選択性を制御する新規触媒機構を初めて明らかにしました。



## 薬学部 医薬品製造化学分野

滝田 良 [教授]、(東北大学 平田 祐介 [准教授]、松沢 厚 [教授])、(帝京大学 濱 弘太郎 [准教授]、横山 和明 [教授])、(岩手医科大学 野口 拓也 [教授] らとの共同研究による)

「トランス脂肪酸」分子が  
老化・炎症を促進するメカニズムを明らかに

「トランス脂肪酸」は動脈硬化症などの加齢や炎症性疾患のリスク因子です。しかし、生体内には構造が非常によく似た脂肪酸が多く存在するため、トランス脂肪酸のふるまいを捉えることは困難でした。そこで研究グループは、トランス脂肪酸を有機化学によって巧みに細工することで、細胞膜上の脂質ラフトと呼ばれる微小領域にトランス脂肪酸が集積することを見出しました。その結果、サイトカインシグナルが増強され、細胞老化や炎症反応が増幅されることを明らかにしました。



## グローバル地域センター 自然災害研究部門

鴨川 仁 [特任教授]、楠城 一嘉 [特任教授]、長尾 年恭 [客員教授]、井筒 潤 [客員教授]、他客員共同研究員 3 名

県立大の挑戦、宇宙へー  
超小型衛星 PRELUDE が拓く地震予測研究

グローバル地域センター自然災害研究部門は地震予測研究を進め、日本大学理工学部航空宇宙工学科山崎研究室と連携して、先行現象を宇宙から探る PRELUDE 衛星を開発しました。名称は前奏曲を意味し、先行現象を捉える意図を込めています。衛星は仏 CNES の DEMETER 衛星をモデルとし、2025 年度内にニュージーランドから打ち上げられる予定です。





シンガーソングライター

# 太田 克樹 さん



本学を卒業し、様々な分野で活躍しているOB・OGに学生広報大使がインタビューを行います。

今回は、静岡県を拠点にシンガーソングライターとして活動する太田克樹さんに学生広報大使の藤津さん、松岡さんがお話を伺いました。

— 現在のお仕事を教えてください。

シンガーソングライターとして静岡を拠点にして活動しています。

— テレビ番組に出たのがきっかけのことですが、どういうきっかけでしたか。

剣祭でのカラオケ大会で優勝してとても嬉しかったんです。他に大会がないか調べたらケーブルテレビ(静岡TOKAIケーブルネットワークの歌番組「トコカラグランプリ」)でカラオケ大会があり、優勝するとアメリカ旅行ペアチケットやCDデビューなどの特典があったので優勝を目指して出ました。優勝した時が大学3年生の春休みで、就職活動が始まる直前でした。4年生の7月にCDが出るのは決まっていて、CDデビューを待ちながら就職活動がスタートして、歌手でやっていけたらもちろん嬉しいけど、大学を卒業して就職しないのはいいのか、当時自分で決めるにはその覚悟もなく、これからどうなっていくだろうと、自分事なのに他人事のような感覚がありました。

— 後押ししてくれた人はいましたか。

2人に相談をしました。1人は当時清水エスパルスにいた村田和哉選手です。村田さんは後悔がないように、自分がやりたいことを決めたならどっちの道に進んでも応援するよと言ってくれました。

もう1人は、今も静岡で活動しているお笑い芸人「ダムダムおじさん」の二村さんです。どちらも私より10歳くらい年上で、人の前に立つ仕事を長くしている人だったので相談しました。2人とも歌手なんてとんでもない、就職しなさいではなく、やりたいことをやりなよと後押ししてくれました。

— 活動していてやりがいを感じる時はありますか。

1人でも多くの人に関わりたいと思って活動しているので、私が頑張っている、挑戦していることを誰かが喜んでいたり、「明日からまた仕事を頑張れる」と声をかけてもらったりすると嬉しいです。

— 作詞作曲もご自身でされていますね。

HASSEというピアニストが作曲をして、その曲に作詞をする曲もありますが、9割は自分で作詞作曲をしています。私にとっての県大のように、たまに帰ってくる懐かしくて、落ち着く場所でありたい、そういう存在に私になりたいと思って作ったのが「HOME」という曲で、それも人と関わる1つの形だと思っています。

また、「キャラメル」という曲は、去年のこの季節(インタビューは11月)に合わせて作った曲で、秋の日は沈んでいく色合いがきれいだな、そういう歌を作りたいなと思って作りました。景色や出来事、自分の中で生まれた感情がきっかけになることが多いですね。

— 思いを歌詞にしたり、言語化したりするのは難しそうです。

「HOME」は多くの人に伝わってほしいと思って作詞しましたが、1人でも伝わったらラッキーだと思って書く歌詞もあります。「クレセント」という曲は、自分の好きな歌詞、好きなメロディーで作りました。

— 静岡県立大学を選んだ理由を教えてください。

3教科で受験ができる大学の中で、富士山の近くに住みたい、実家のある愛知県も近いという理由から静岡県立大学を選びました。

— 国際関係学部を選んだ理由は。

人と話したり、コミュニケーションをとったりするのが好きで、人と関われる、日本だけではない様々な文化を学べるのが魅力的でした。また、様々な言語を知ることができたら楽しそうだなと思い、国際言語文化学科を選びました。

— 学生時代の思い出をお聞かせください。

一番はきっかけにもなった剣祭のカラオケ大会で優勝したことです。学生ホールで食べたサラダうどんも思い出です。また、高校生までサッカーをずっとやっていた、大学では違うことをやりたいと思って入ったのがACOUSTIC CLUBです。当時はギターを弾くことはなかったですが、少なからず人前で歌うことがあり、音楽に携わることのできた4年間だったので、その時の経験が今に生きています。

— 思い出に残っている先生や授業を教えてください。

ゼミの指導教員だった奈倉京子先生には色々助けていただいたので私にとっての恩人です。また、オーラルコミュニケーション(現:フレッシュマンイングリッシュ)の授業では、5つのチームに分かれて英語で映画を撮るという授業が面白かったですね。



話を聞く松岡さん(左)、藤津さん(右)



太田 克樹(おた かつき)

1993年生まれ、愛知県豊橋市出身。国際関係学部卒業。2014年、静岡のケーブルテレビ歌番組の初代グランドチャンピオンになりCDデビュー。2016年リリースの、静岡を舞台にしたデュエットソング「思い出の交差点」が県内で話題となる。デビュー10周年の2025年7月に、静岡市清水文化会館(マリナート)でのホールワンマンライブを開催。1人でも多くの人生に携わる、をテーマに静岡県を拠点に子どもに関わる取り組み、商業施設や地域でのイベントを中心に活動中。目標は40歳までに日本武道館でのワンマンライブ。



一県立大学で得られたものについて教えてください。

大学で知り合った友達やアルバイト先で出会った年上の方、そういう人との繋がりです。出身が愛知県豊橋市なので、静岡は地元ではないですが、大学でできた友達は卒業した後も定期的に会っています。静岡に住んで13年目になりますが、県大に来てよかった、静岡はいいところだなと思わなかったら、今も静岡にいないと思います。今まで住んできて、活動してきた静岡をこれからも拠点にしたいと思っていて、静岡がいい場所だと思わせてくれる県大に感謝しています。

一今後の目標を教えてください。

40歳までに日本武道館でワンマンライブをしたいという目標を掲げています。それまで8年弱ある中で、この1年でやるべきこと、目標を細かく立てて、来年や3年後、5年後にこうなりたい、こうなりたいなら

こうしなきゃいけないというプランを立ててやっています。

一目標にしているアーティストはいますか。

秦基博さんです。ACOUSTIC CLUBにいた時も秦さんの曲をやっていて、その時は好きなアーティストの1人でした。優勝してCDを出すようになって、人前で歌うようになって、尊敬するアーティスト、憧れるアーティストになりました。

一県大生へメッセージをお願いします。

中学校や高校、特別支援学校など、子どもたちに関わる活動を多くしていて、そこで関わるみんなには「どうなりたいかよりも、自分がどうありたいかを大事にしてほしい」と伝えています。私自身、就職活動をしている時にどうなりたいか、何になりたいかは正直ありませんでした。私は運良く歌手の道に進むことができて、やりたいことをやれていますが、

大事なのはどうありたいかがあって、どういう環境でどういう自分でいられるか。それを考えてほしいなと思います。

また、私は好きな音楽がそのまま仕事になっていますが、必ずしも好きなことが仕事にならないと思いますし、好きなことは仕事にしたいくないという人もいます。いずれにしても、好きなこと、歌でもライブに行くでもサッカーでも、食べることで何でもいいので、自分の落ち着けるものやことを大事にしてほしいなと思います。

## ■ (短大) お口健康「歯っぴーふえあ」に参加しました

6月1日、歯科衛生学科1年生は、歯の健康週間のイベント、お口健康「歯っぴーふえあ」に参加しました。このイベントは、静岡市静岡歯科医師会が毎年、歯と口の健康週間事業として、市民が歯の健康に関して興味を持つ機会をつくり、口腔衛生、疾病の予防の知識を得ることと、静岡市民の皆さんと歯科関連の人々がイベントを通して交流することを目的に行われています。

今回の実習は、地域の歯科保健の普及啓発活動が歯科衛生士にとって重要な役割であることへの理解を目的としています。この実習を通して、学生たちは歯科衛生士として主体的な公衆衛生活動の実践のために身につけるべき能力を考える機会となりました。



白衣を着て歯医者さんになって写真撮影  
(画像の一部を加工しています)

## ■ (短大) 「大学生と学ぶ福祉の魅力」を開催しました

社会福祉学科では、毎年夏休みに「大学生と学ぶ福祉の魅力」を県内社会福祉協議会と連携し、各地で開催しています。8月2日、富士市社会福祉協議会との連携による「簡単調理で防災ランチを作って食べよう」が開催され、高校生や大学生など延べ23名が参加しました。

防災クイズからスタートし、調理開始後は好きなおにぎりの具材や、好きなアーティストの話、進路の話などで盛り上がりました。

最後には、全体の振り返りと感想を共有

し、うまくいったこと、いかなかったことについて皆で話し合いました。富士市社会福祉協議会の職員の方や、本学教員の江原先生からもコメントがあり、防災と福祉のつながりについて、理解を深めることができました。

### 【今回のメニュー】

- ・ビニール袋で炊くおにぎり
- ・スナック菓子で作るサラダ
- ・味噌汁



調理中の様子

## ■ (短大) 「けんたんこどもの歌音楽会2025」を開催しました



ぼよん行進曲に盛り上がる会場の様子

8月9日、夏の青空に恵まれた一日。短期大学部(小鹿キャンパス)講堂にて、「ムセイオン子どもプロジェクト&子ども学科共催 けんたんこどもの歌音楽会2025」が開催されました。

当日は119名のお客様を迎え、学生たちは絵本と音楽がひとつになった舞台を心を

込めてお届けしました。

それぞれの演目では、学生たちが振り付けや小道具に趣向を凝らし、子どもから大人まで思わず笑顔になる工夫がいっぱいです。最後の「ぼよん行進曲」では、会場のお客様も一緒にジャンプ! 講堂全体が大きな一体感に包まれました。

### 【プログラム】

- ・はらぺこあおむし
- ・おおきなかぶ
- ・羽衣
- ・とんでったバナナ
- ・あおいそらにえをかこう
- ・ぼくのミックスジュース
- ・ちゃつみ&みかんの花咲く丘
- ・ぼよん行進曲

さらに、今年度は「ムセイオン子どもプロジェクト」と「静岡子ども学研究所」の共同企画として、静岡市清水区・三保の松原に伝わる「羽衣伝説」を取り上げ、地域の文化に親しむ時間もお届けしました。

## しずぶんツアー第8弾「するが文化の散歩道スタンプラリー2025」を開催しました

国際関係学部の細川光洋ゼミが企画・協力している「しずぶんツアー『するが文化の散歩道スタンプラリー』」が10月7日から12月7日まで開催されました。

このイベントは、「中勘助文学記念館」「芹沢銈介美術館」(静岡市)、「焼津小泉八雲記念館」(焼津市)、「藤枝市郷土博物館・文学館」(藤枝市)の4つの文化施設を巡り、スタンプを集めるとオリジナルデザインのチケットファイルや帆布トートバッグがもらえるもので、同ゼミでは毎年、冊子デザインやスタンプ、グッズなどの制作を手掛けています。

オリジナル猫キャラクターをあしらったトートバッグのデザインは、芹沢銈介美術館にある噴水から発想を得たものになっています。また、今年度は、チラシの二次元コードを読

み取ってリンクにアクセスすると、AR機能を使って各館の猫キャラクターたちと一緒に写真や動画を撮影できました。



学生が手掛けたグッズとスタンプ帳



細川教授(前列中央)とゼミ生

## スポGOMI ワールドカップ日本予選で看護学部生が全国5位入賞

「ゴミ拾いはスポーツだ!」を合い言葉に、ゴミ拾いと競技を組み合わせた日本発祥の新しいスポーツ「スポGOMI」。その世界大会「スポGOMIワールドカップ」本戦出場をかけた「スポGOMIワールドカップ2025 日本予選決勝大会」が、9月21日に東京都で開催されました。

本学からは、昨年度の静岡予選大会で優勝を果たしたボランティアサークル「なまけもの」男子チーム(看護学部3名)が出場し、全国の代表47チームと熱戦を繰り広げました。

全国の頂点を目指した今大会は、東京都新宿駅西口エリアを舞台に、1時間という制限時間の中で、拾ったゴミの種類と量によってポイントを競い合う形式で行われ、結果は堂々の5位入賞となりました。惜しくもワールドカップ本戦出場は叶いませんでしたが、全国の強豪チームが集う中で、その実力を示

しました。

参加した学生たちは、「全国の代表チームと、ゴミ拾いというスポーツを通じて競い合えたことは、とても感慨深い経験でした。しかしそれ以上にチーム全員で東京の街を全力で綺麗にしたという達成感の方が大きいです。来年以降も大会に参加していきたいですが、いつかはボイ捨てがなくなり、スポGOMIが開催できなくて悔しい!という未来になれば、これ以上の喜びはありません」と、スポーツマンシップと環境への想いを語りました。

この3名が所属するボランティアサークル「なまけもの」は、小鹿・草薙地区でのゴミ拾い活動からスタート。現在では、彼らが昨年度設立した本学初の学生ベンチャー「株式会社なまけもの」の一環として活動の幅を広げ、地域社会への貢献と新しい価値創造を目指して取り組んでいます。



参加したメンバー(集めたゴミとともに)

## 令和7年度「学生生活活性化プロジェクト」の贈呈式を開催しました

12月2日、草薙キャンパスにおいて、「学生生活活性化プロジェクト」の贈呈式が行われ、認定された5団体のうち出席した3団体に今井学長から認定書が交付されました。「学生生活活性化プロジェクト」は、後援会事業のひとつとして、令和5年度に立ち上げたもので、本学の学部生と大学院生がリーダーとなり企画・運営を行うプロジェクトに対し、活動経費を支援するものです。

今回初めて認定されたShizuoka LanBridgeに、今井学長は「地域の人だけでなく、留学生とも積極的に交流して欲しい」とエールを贈りました。

認定された5団体は、2026年6月末までの間に各プロジェクトを実施していきます。



### 令和7年度 学生生活活性化プロジェクト認定団体

団体/プロジェクト名	主な活動内容
1 静岡県立大学学生広報大使	公式キャラクターのグッズ制作、学内施設や地域とのコラボ
2 災害ボランティア団体メブキ	石川県災害ボランティア活動の継続、静岡県内での災害対応
3 学生団体よってみ!	清水駅前商店街を中心とした清水全体を巻き込んだイベントを企画・開催
4 Shizuoka LanBridge	英語を通じて、異文化交流できる地域の居場所づくり、イベントを開催
5 筋トレを通じた学生・教員の健康増進プロジェクト	トレーニング環境や安全な指導体制の整備、基礎的トレーニングプログラムの提供

## 富士山に関する研究を防災・環境の観点から実施しています

グローバル地域センター自然災害研究部門では、静岡県の象徴である富士山に関する研究を、防災・環境の観点から実施しています。近年では、楠城一嘉特任教授がマグマ活動の情報を得られる低周波地震を超高感度で検知する技術を開発し、長尾年恭客員教授がマグマ移動を捉えるための地磁気観測を開始しています。

また、夏期には鴨川仁特任教授を中心に、富士山が日本最高峰かつ孤立峰であるという特性を生かし、約4kmの観測タワーとしての利点を活用した環境研究を行っています。近年、静岡県内でも気候変動に起因する竜巻、突風、豪雨、降雹といった極端気

象が増加しており、これらの予測研究の重要性はさらに高まっています。富士山の高度を活かした積乱雲観測や、極端気象に伴う雷観測を通じて、今後の気象災害の減災に向けた研究を進めています。

富士山頂での観測は、気圧が地上の三分の二程度と低く、高山病のリスクもある過酷な環境で行われるため、装置の設置やメンテナンスは決して容易ではありません。2025年度7～8月に実施した夏期観測では、自然災害研究部門の研究者に加え、事務職員も観測支援や広報活動に参加し、県大として富士山での研究活動をより活発に展開することができました。



富士山特別地域気象観測所前にて、観測機器の設置とデータ収集に臨む自然災害研究部門のメンバー。過酷な環境の中、富士山頂から気象災害の予測研究を推進しています。

■ **本学が中小規模大学版「新・就職力ランキング2025-2026」で総合3位**

日経HRが発行した「日経キャリアマガジン 特別編集 価値ある大学 就職力ランキング 2025-2026」中小規模大学版において、本学が全国総合3位となりました。

このランキングは、上場・未上場の有力企業の人事担当者に対して直近2年間に採

用した社員を出身大学別に見て、「卒業生の資質・姿勢」と「大学の取り組み」について尋ねた調査結果を集計して発表されたものです。

他にも、行動力が4位、コミュニケーション能力が5位と評価されました。



■ **「世界で最も影響力のある科学者トップ2% (Top 2% Scientists List 2025)」に本学教員がランクイン**

スタンフォード大学(アメリカ)とエルゼビア社(オランダ)による「Top 2% Scientists」は、各分野において世界中で最も引用されている研究者を選出する権威あるランキングです。

9月19日付けで更新・発表された最新版で、「単年」(single recent year)の区分に6名、「生涯」(career-long)の区分に11名の本学教員がランクインしました。

下に「単年」区分でランクインした教員を紹介します。

■区分:「単年」(single recent year) ※Top 2% Scientistリスト掲載順に掲載しています

- 江上 寛通 (薬学部 医薬品創製化学分野 准教授)
- 眞鍋 敬 (薬学部 医薬品化学分野 教授・薬学研究院長)
- 渡辺 賢二 (薬学部 生薬学分野 教授)
- 尾上 誠良 (薬学部 薬剤学分野 教授)
- 海野けい子 (食品栄養科学部客員准教授・茶学総合研究センター客員研究員)
- 山田 静雄 (薬学研究院附属薬食研究推進センター長・特任教授)

■ **令和7年度防災訓練を実施しました**

小鹿キャンパス全学生および教職員を対象とした防災訓練を10月30日に、草薙キャンパス全学生および教職員を対象とした防災訓練を11月12日に実施しました。

小鹿キャンパスでは、講堂で防災講習会を受講後、グラウンドへ避難し、点呼訓練を行いました。その後、担架搬送訓練や消火栓訓練、地震体験や災害トイレ実験を実

施し、災害時における動きを確認しました。草薙キャンパスでは、グラウンドや西側の芝生園地へ避難し、煙体験や水消火訓練などを行いました。また、1年生を対象に防災講座を実施し、学生たちは静岡県内で想定される地震の被害規模や、災害から身を守るためにすべきことを学びました。



■ **「研究ハイライト」ページをオープンしました**

本学教員・学生・関係者の研究成果を紹介する『研究ハイライト』ページをオープンしました。2022年度以降に発表した研究成果を掲載しています。ぜひご覧ください。



## 「金融機関におけるデジタル活用について静岡銀行行員が特別講義」



講義の様子

経営情報学部の情報必修科目「情報リテラシ2」で1月15日に、静岡銀行の現役行

員による特別講義を実施し、同学部1年生約130名が聴講しました。

講義前半では、同銀行でDX化に取り組んできた松本健司・カスタマーサポート理事部長が、金融機関におけるICT化の歴史や、DXの導入、最新のAI活用までを、昭和から令和までのタイムラインで解説しました。松本理事部長は、金融の分野でも情報技術は必要不可欠であると述べ、「銀行はデジタルスキルを持つデジタル人材を求めている」と訴えました。

後半は、経営情報学部卒業生でもある現役行員3名が、それぞれの仕事について説明しました。

講義を受けたミャンマーからの留学生のエー・ティリ・モンさんは「銀行というとお金を預けたり借りたりするだけのイメージだったが、今日の話聞いて、データサイエンスを学ぶ人にも働くチャンスがあるんだと思った」と感想を述べました。

講義を受けたミャンマーからの留学生のエー・ティリ・モンさんは「銀行というとお金を預けたり借りたりするだけのイメージだったが、今日の話聞いて、データサイエンスを学ぶ人にも働くチャンスがあるんだと思った」と感想を述べました。

## 「薬学部および薬食生命科学総合学府の学生が県議会議員との意見交換を実施」

12月4日、薬学部および薬食生命科学総合学府の学生計6名と薬学部長の吉成浩一教授が、伊丹雅治県議会議員（自民改革会議）、山本隆久県議会議員（無所属）と「薬学部における研究教育」をテーマに意見交換会を行いました。

意見交換会では、冒頭に吉成学部長より、本学薬学部の教育・研究の概要やこれまでの取り組み、学生の進路状況などについて説明がありました。続いて、出席した学生がそれぞれの研究内容や大学生活、将来の目標について発表し、日々の学修や研究活動の中で感じていることについて意見交換を行いました。

学生からは、研究に取り組む中でのやりがいや悩み、将来の進路を見据えた思いに加え、研究活動を継続するうえで感じている環境面での課題についても意見がありました。これに対し、伊丹県議と山本県議は、学生一人ひとりの発言に耳を傾けながら、学生の学びや成長を支える観点から意見を述べました。

伊丹県議からは、「学生の皆さんは静岡県、そして日本の宝であり、今後の活躍を大いに期待している」と激励の言葉がありました。また、山本県議からは、「学生の生の声を直接聞くことで、大学生生活や研究活動の実情をより具体的に知ることができた」とコメ

ントがありました。

県政の第一線で活躍している県議会議員と直接意見を交わすことで、学生は社会や政治とのつながりを実感するとともに、今後の学びや進路を考えるうえで大変有意義な機会となりました。



県議を囲んで記念撮影  
(前列左から、山本県議、吉成薬学部長、伊丹県議、後列学生)



## 県大サポーターズクラブ

静岡県立大学では、教育・研究環境の充実に向け、「県大サポーターズクラブ」ご加入の企業等からご支援をいただいています。ご支援をいただいている企業等は次のとおりです（2026年1月末現在）。

【加入企業等一覧（順不同）】

nattoku 住宅株式会社	日本ケミカル工業株式会社	静和エンバイロメント株式会社
株式会社東名自動車学校	天龍製鋸株式会社	株式会社 396 バイオ
株式会社うさぎ薬局	株式会社杏林堂薬局	鈴与建設株式会社
静岡鉄道株式会社	TOKAI グループ	セキスイハイム東海株式会社
鈴与株式会社	鈴与商事株式会社	静岡ガス株式会社
鈴与システムテクノロジー株式会社	しずてつジャストライン株式会社	

ご支援ありがとうございます

今号の「はばたき」では、本学のグローバル化3つの視点の内、「キャンパス環境」についてご紹介します。

## 「キャンパス環境」のグローバル化 ～キャンパス内の文化多様化の促進～

学生クラブ「IFC (International Friendship Club) 国際学友会」と国際学生寮に住む留学生が協働し、自国文化紹介講座“Global Mosaic Gathering”を開催しています。このイベントでは留学生自らが用意した母国愛あふれるプレゼンテーションを披露したり、自国で人気のお菓子を振舞ったり、また参加者と共にその国ならではのレクリエーションで盛り上がったりと、国境を越えた楽しい学生間の異文化交流を深める場となっています。

国際交流センター  
副センター長  
小窪 千早 准教授



### 👍 異文化を肌で感じよう！



- ✓ 友達の輪が広がる
- ✓ 貴重な経験ができる
- ✓ 自国や地域（静岡）について再確認することができる
- ✓ 留学生を通じて海外の文化や言葉を知ることができる
- ✓ 異文化・学生交流により、「共生」についての理解を深めることができる



異文化交流  
イベント



富学寮+  
国際交流  
インスタグラム

本学のグローバル化3つの視点



教育



研究



キャンパス環境

●グローバル [global]：世界的な規模であるさま。また、全体を覆うさま。包括的。「一な視点」 出典：デジタル大辞泉(小学館)

## 世界とつながる教育体制

海外22ヶ国の学校と交流協定を結んでいます。

交換留学や語学研修といった学生交流から教員の研究交流まで様々な交流を図っています。

協定校各国 (2026年2月現在) ※協定校について詳しくは下記二次元コードからホームページをご覧ください。

アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、インドネシア、オーストラリア、カナダ、スペイン、タイ、大韓民国、中華人民共和国、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、バングラデシュ、フィリピン、フランス、ベトナム、ベルギー、マレーシア、モルドバ、ロシア、モンゴル



### 協定校紹介

### Partner school introduction



#### フランス リヨンカトリック大学

1875年に創立されたリヨンカトリック大学は、フランス第二の都市リヨンの歴史的な中心部に位置し、幅広い分野で教育と研究を行い、少人数制の授業や国際交流、地域との連携を重視しています。学生がグローバルな視野で学べる環境が整っており、今後は本学とのさらなる交流が期待されます。

### 交換留学を経験した先輩の声

私は2025年8月から2026年1月まで、フランス・リヨンカトリック大学に交換留学しました。現地大学では6か国語で授業が行われ、3～4か国語を話せる学生が多く、多くの刺激を受けました。日常生活では特にリスニング力が向上し、アルバイトを通してフランス語での接客や現地の文化にも触れました。留学を通して、多国籍の学生と交流する中で「あたりまえ」が存在せず、「自分には選択する権利がある」ということを強く実感しました。「自分がどうありたいか」を考える時間そのものが、成長につながる大切な時間だと学びました。リヨンに派遣される1期生としての経験は、これから留学する後輩たちの勇気に繋がると信じています。

#### 礼悦 悠貴

国際関係学部 国際関係学科 3年  
[留学期間] 2025年8月～2026年1月



### リヨンカトリック大学からの交換留学生紹介

海外での生活は、学生にとって自身の世界観や視野を広げるうえで非常に貴重な経験です。静岡県立大学への留学により、異なる国の大学生活に触れ、新たな学習方法や大学での取り組み方、先生、クラスメイトとのコミュニケーションの方法を学ぶことができました。渡日当初は言語や日常生活に戸惑うこともありましたが、富学寮のルームメイトや国際交流室の皆さんに支えられ、困難を乗り越えることができました。文化や言語が異なっても互いに理解し合い、多くを学び合えたことは私の人生の大きな財産です。今回築いた友情と学びを、今後の成長につなげていきたいと思っています。

#### Solenne Margaux Mavigner

外国語学部 / 国際関係学部 3年  
[留学期間] 2025年4月～9月



【国際交流・留学】  
詳しくはコチラ！



To be continued >>> 次回の協定校紹介もお楽しみに！



国際関係学部 田村 敏広 准教授

## —先生が取り組まれている研究について教えてください。また、現在の研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。

「言語学」の研究に取り組んでいます。言語学は、言葉の意味や構造、歴史の変遷、語源、脳における言語処理、言語習得の仕組み、また、社会・文化における言語使用やその影響など、言葉をさまざまな観点から科学的に探究する学問です。

私は英語と日本語を対象に、言葉と人間の感情表出の関係について研究を進めています。言葉話す際に、表情やイントネーションなどで色々な感情を表出することができますが、ある種の言語表現は、そういった身体的行為や音韻的特徴を伴ってなくても、ある特定の感情を表出

することができます。例えば「壊してしまった」という表現は、表情やイントネーションが伴ってなくても話者の後悔の念のようなものを感じ取ることができます。私は、こうした表現の意味的性質に着目し、どのような仕組みで感情が言語的に表出されるのかを明らかにすることを目指しています。ある注意喚起の張り紙を見て、表情も音声もないのに、書き手の感情が伝わることに気づいたことが研究のきっかけでした。

## —先生の研究が、これからの社会に果たす役割についてお聞かせください。

言語学の研究は、私たちの日々のコミュニケーションの理解や改善、言語教育や外国語学習の効率化、さらにAIなどのテクノロジー分野における音声認識や対話システムなどの技術基盤にもつながっています。また、言葉の背後には常に「人間」が存在します。言葉を研究することによって、人が世界をどのように認識し、どのように思考するのかといった、人間の知性や文化のあり方を深く理解することができますと考えています。

## —研究をしているなかで、学生の成長を感じるのとはどのような時ですか。

学生には言語学を楽しんでほしいなと思っています。言葉には、私たちの思考や文化・社会、人間そのものまで映し出す不思議な魅力があります。学生がその奥深さに気づき、自ら問いを立て、調べ、考えを深めていく姿を見たときには成長を感じます。ゼミや卒業研究に取り組んでいく中で、学生は次第に他者の意見を受けとめ、自分の視点で語れるようになっていきます。その過程で生まれる発見や気づきを共有できることが大きな喜びです。



田村 敏広 准教授



- 2007年 筑波大学 大学院人文社会科学 研究科博士課程修了 博士(言語学)
- 2009年 静岡大学 情報学部情報社会学科 講師
- 2014年 同 准教授
- 2021年 静岡県立大学 国際関係学部国際言語文化学科 准教授

STUDENTS' VOICES



国際関係学部  
国際言語文化学科 4年  
**松本 海来さん**

一ご自身から見て感じる、田村先生の研究室の魅力や特徴についてお聞かせください。

本研究室では、日英語の語法・文法を認知言語学的な視点から楽しく学べるのが魅力です。学生が多く、明るく活発な雰囲気の中で、互いの意見や気づきを共有しながら理解を深めています。こうした学び合いによって、新しい理解や視野の広がりを実感できる点も魅力に感じています。また、先生との距離も近く、気になる点や研究の方向性について気軽に相談できるため、自分の関心を伸ばしながら主体的に取り組める環境が整っています。

一ご自身が行われている研究テーマについてお聞かせください。

私は、英語学習者におけるアスペクト理解の実態を調査しています。動詞が表す「状態・継続・到達」などの意味的特徴が十分に把握されていない場合、誤りが生じることがあります。本研究では、TOEICスコアを習熟度の指標として、語彙アスペクト理解の違いを比較し、誤用が生じやすい特徴を明らかにします。これにより、語彙の特徴に着目した指導の必要性と、習得支援に向けた教育的示唆を得ることを目的とします。

一将来の目標・希望進路についてお聞かせください

研究室では、言語表現の背景にある意図や、話し手の思考を丁寧に読み解く姿勢を身につけました。言葉は単なる情報伝達にとどまらず、相手への配慮や関係づくりの役割をもつことを学び、相手の立場や状況を想像しながら関わる大切さを実感しました。今後は、こうした学びを土台に、一つひとつの出来事に誠実に向き合い、丁寧なコミュニケーションを通して信頼関係を築ける社会人として成長していきたいと考えています。



国際関係学部  
国際言語文化学科 4年  
**森 悠真さん**

この研究室の魅力は、私たちの生活に身近な言語を通して、幅広い研究ができることです。実際に研究テーマは、接客敬語やディズニー映画、総理大臣の演説など多様です。普段のゼミでは、LINEなどの日常会話を用いて、メタファーやポライトネスなどの言語現象を学んでいます。また、田村先生はゼミ生にとってお父さんのような存在なので気軽に質問しやすく、研究で行き詰まったりした時は丁寧に相談に乗ってくださいます。

日英韓の歌詞の中で「愛」が何に例えられているのかを言語と時代で比較研究しています。私たちが普段楽しんでいる楽曲では、様々なメタファーを通して感情が表現されています。しかし、ストリーミング再生やSNSが無かった昔と今で、「愛」は同じものに例えられているでしょうか。趣味の音楽鑑賞中に感じたこの疑問をきっかけに、現在卒業研究として取り組んでいます。

将来の目標は、人とのつながりを大切にしながら、信頼される社会人として成長することです。ゼミと韓国でのワーキングホリデーでは、言葉の背景にある人の思いを理解する大切さを学びました。この経験を活かし、来春からはお客さまに最適な提案ができる営業担当として、地域に貢献していきたいです。

田村先生研究室 22名



# 活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



お名前 西澤 慈さん

卒業学部 薬食生命科学総合学府薬科学専攻  
博士後期課程 (医薬品製造化学講座)  
(2023年3月修了)

勤務先 中外製薬株式会社 製薬研究部

**Q1.現在の仕事について、どのような内容がお聞かせください。また、仕事でやりがいを感じるときはどのような時か、お聞かせください。**

私は「医薬品の種を商用生産可能な製法に育てる」ことに従事しています。これをプロセス化学と呼びますが、安全に、低コストで、高品質な製品を、大量に作れるように研究してい

ます。仕事でやりがいを感じる時は、自身の実験結果と考察から上記の課題を解決できた時や、新たな化学的知見を見つけ出した時です。中外製薬では「化学の前では皆平等」の考え方が浸透しているため、非常に働きやすいです。

**Q2.大学生活(研究やサークル)で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。**

大学院生活で印象に残っていることは、困難な課題に粘り強く取り組み、周囲のサポートを得ながら解決するプロセスを経験できたことです。これは大学院での研究についてですが、好きなだけ実験し、仮説を検証することができた環境はおそらくこの先経験することのできない貴重な経験であったと思います。入社後にも困難な課題に直面しているのですが、研究室での経験から粘り強く取り組み、周囲を巻き込んで課題解決を行っています。

**Q3.静岡県立大学に入学してよかったことを教えてください。**

先生方と学生との距離感が近く、親身になって指導していただけることです。私自身大学院で研究活動を行っていた際、自身の研究室の先生だけでなく他の研究室の先生方にも

目をかけていただき、多角的な視点から様々なディスカッションをさせていただくことができました。自身の研究を多角的な視点から俯瞰できる良い機会だったと思います。

**Q4.今後の目標や課題について教えてください。**

今後は「課題解決に向けた技術開発」に力を入れたいと考えています。私の専門である有機化学では、化学反応を操りながら目的の化合物を合成していきます。時に回り道が必要な課題や、そもそも達成が困難な課題も存在します。これらに対して、化学技術を駆使した新たな技術を開発することで、効率化を図ったり、これまでは解決が難しかった課題を解決したりすることに貢献していきたいと考えています。

**Q5.在学生にひとこと、メッセージをお願いします。**

「大学生活は人生の夏休み」と比喻されることがありますが、この時間をどう有効活用するかが今後の就職活動や社会人人生で重要になってくると思います。なにかに没頭し、夢中になることができたら素敵だと思います。私にとって、そのなにかが有機化学でした。ぜひ、学生の皆さんも、様々なことに興味を持って、なにかに没頭してみてください。

# 活躍する在学生

The current student who plays an active part



お名前 犬塚 功真さん 中村 有那さん

在籍学部 短期大学部 社会福祉学科  
社会福祉専攻 2年  
(2024年入学)

**Q1.現在、ご活躍されている分野についてどのような内容をお聞かせください。また、その分野で一番魅力を感じる部分はどこですか。**

地域と連携した防災イベントに参加し、準備や運営のサポートを行いながら、企画にも携わることで、防災に関する知識を深めています。実際に被災した時をイメージしたイベントですが、内容は面白く、誰もが防災に対する意識を高めつつ、楽しみながら参加することができ、そこに魅力を感じます。(犬塚さん)

私は防災をテーマとするゼミ活動の一環として、防災キャンプや「簡単調理で防災ランチを作って食べよう!」などの地域向け防災イベントの運営に携わりました。災害時に誰もが安心して過ごせる地域づくりを目指し、参加者と

一緒に考える活動です。防災を通して、人と人とのつながりの大切さを学ぶことに魅力を感じます。(中村さん)

**Q2.静岡県立大学に入学しようと思ったきっかけを教えてください。**

入学しようと思った理由は、2年間という短い期間で社会福祉士国家試験の受験に必要な科目を履修することができる点です。卒業後、現場で相談業務を2年間行いますが、4年制大学と異なり、収入を得ながら現場での経験を積み、試験に挑むことができます。(犬塚さん)

もともと人の役に立つ仕事に関心があり、社会福祉を幅広く学べるところに魅力を感じました。短期大学部では、保育士や社会福祉士など専門資格の取得も目指せるところにも魅力を感じました。(中村さん)

**Q3.私生活や学業と活動はどのように両立されていますか。**

私は保育の科目を履修していないため、時間に余裕があり、両立することにはそれほど苦労していません。空き時間の有効活用ができており、イベントなどには可能な限り参加するようにしています。(犬塚さん)

学業と活動を両立させるため、授業や課題に集中する時間と、ゼミ活動に取り組む時間を明確に分けて過ごしています。思うように時間を作れない時もありますが、先生やゼミの仲間と協力しながら進めることで責任感や計画性が身につきました。自分の成長につながっています。(中村さん)

**Q4.活動をやっている苦労したこと、そこから学んだことなどあれば教えてください。**

活動している中で苦労したことは、自分の意見に固執するあまり、納得できていないまま企画をしなければならなかったことです。しかし、いざ企画に携わると、想像よりも楽しいものが多く、自分の考えに囚われすぎたことに気づくことができました。(犬塚さん)

防災イベントの準備では、参加者の年齢や興味に合わせて内容を考えることが難しかったです。特に、高校生にもわかりやすく楽しく学んでもらう工夫に苦労しました。意見を出し合いながら活動を進める中で、相手の立場に立って考えることやチームで協力する大切さを学びました。(中村さん)

**Q5.今後の目標や課題、将来の夢について教えてください。**

大きな災害に直面した際、自助だけに留まらず共助で支え合えるよう、防災に関する知識を増やし、万全な備えをしておきたいです。また、私は高齢者福祉の分野で働くことになり、災害が起こった際に避難することが困難な高齢者の対応についても、知識を深めていきたいと考えています。(犬塚さん)

防災活動を通して、災害時に支援が必要な人への備えの重要性を学びました。私は、障がいのある方が安心して暮らせる社会を支える仕事に就くことになり、今後は、障害福祉と防災の両面から学びを深め、誰もが安全に過ごせる地域づくりに貢献したいです。困難な状況でも寄り添い支えられる支援者を目指します。(中村さん)



未来を拓く研究を、

地域の皆様と共に。

静岡県立大学では、薬学・食品栄養・国際関係・経営情報・看護の5学部において、300名を超える研究者が日々、社会課題の解決に挑む高度な研究を進めています。

**薬学部**

画期的な  
新薬の開発等

**食品  
栄養科学部**

食品の新たな  
機能性の探索等

**国際  
関係学部**

国際関係・  
地域課題の分析等

**経営  
情報学部**

マーケティング・  
データサイエンス  
研究等

**看護学部**

健康・医療  
分野の課題解決等

これらの研究成果は、地域社会や産業界に新しい価値を創出し、未来を切り拓く力となっています。



アメラトマト



テアフラビン紅茶



コリバクチン検査



茶学総合研究センター

## 奨学寄附金募集のご案内

本学では、研究のさらなる発展を支えるため、企業・個人の皆様からの奨学寄附金を広く募集しております。寄附金は、研究活動の推進、若手研究者の育成、地域でのフィールドワークの促進などに活用させていただきます。



教員データベース

- 寄付金額に下限はありません。少額からでもご支援いただけます。
- 用途指定・研究者指定も可能です。貴社の関心分野に応じた支援ができます。
- 本学教員の研究分野は、教員データベース・研究シーズ集で確認いただけます。

## 寄附のメリット

- 社会貢献（CSR）活動の強化
- 税制上の優遇措置による負担軽減
- 大学とのネットワーク形成

### 寄附の手続きについて

お手続きは簡単です  
担当部署が丁寧にサポートいたします  
詳細はQRコードよりご確認ください



奨学寄附金ページ

皆様からの温かいご支援を、心よりお待ちしております。

お問い合わせ

静岡県立大学 地域・産学連携推進室

TEL: 054-264-5124 Email: renkei@u-shizuoka-ken.ac.jp



# はばたき寄金



## はばたき寄金とは？

「世界にはばたく人づくり」や「外国大学との交流」、「本学の学術・文化等の発展、向上に努めた学生・院生・教職員への顕彰」などを行うことを目的とし、教職員をはじめ大学関係者からの寄附金を財源に創設されたものです。

はばたき寄金運営委員会主催

## 文芸コンクール／リール動画コンテストの開催



本学の学生と教職員を対象とした「文芸コンクール（全4部門）」及び「リール動画コンテスト」が開催されました。今年の文芸コンクールでは、短歌部門6作品、俳句部門7作品、写真部門8作品、イラスト部門4作品の合計 25 作品の応募があり、リール動画コンテストでは3作品の応募がありました。各部門・コンテストの受賞者は2025年11月25日に実施された表彰式にて、学長より賞状及び副賞が授与されました。

### 文芸コンクール受賞者

各部門/コンテスト	最優秀賞	優秀賞	佳作
短歌部門	野田萌々香	矢野 圭悠	菰田 昌生
俳句部門	大場 有喜	野田萌々香	中村彩友香
写真部門	黒田 奈那	疋田悠有貴	野田萌々香
イラスト部門	野田萌々香	西方 菜美	中村 彩乃
リール動画コンテスト	小寺 芽衣	-	-



### 令和6年度顕彰事業

## はばたき賞／おおとり会賞について

教育、学術、文化、スポーツ分野等において優秀な成績、社会奉仕活動等を行った者等を対象とする『はばたき賞(個人)』『おおとり会賞(団体)』の受賞者(団体)が決定し、2025年4月18日に表彰を行いました。

はばたき賞(個人表彰)	高林 佑介
おおとり会賞(団体表彰)	静岡Symphonic Winds

### 令和7年度新規事業

## はばたき寄金貸与型緊急支援奨学金

はばたき寄金運営委員会は、突発的な家庭の事情等により、授業料の納入が困難となるなど、経済的理由で休学・退学を余儀なくされる学生を救済するため、貸与型の独自奨学金制度を開始しました。詳細は本学公式サイト『はばたき寄金』をご確認ください。

皆様からのご寄附に  
御礼申し上げます。

〔はばたき寄金運営委員会〕

(敬称略、寄附日付順)

静岡県立大学後援会、落合康裕、山下早苗、青木智子、杉本万里子、牧野正和、三浦進司、湯瀬裕昭、市川淳一郎、菅美代子、竹熊カツマタ麻子、小林公子、高畑幸、今井康之、白木三慶、根岸まゆみ、河田貴司、賀川義之、梅本英司、林みよこ、窪田怜、大村圭子、細川光洋、大島好恵、影島英一郎、前野真由美、井口賢輔、創星会

※2025年1月1日～2025年11月25日までに寄附いただいた方  
※はばたき寄金寄附者一覧の最新情報は本学公式サイト『はばたき寄金』をご確認ください。

# 図書館 だより

## 「お気に入りの場所をさがしてみてください！」

はじめに紹介したいのは、コワーキングスペースです。頭文字の「コ」はコンセントを意味していて、全ての席に電源が設置されています。通常の閲覧席よりスペースが広く、パソコンや資料などを広げて作業がしやすいです。以前より人気だったため、昨年度4席から11席に拡張しました。中庭に面した席や完全に孤立した席など、1階のいろんな場所に点在しています。衝立でしきられているので、パーソナルスペースも確保されて安心感があります。

次のおすすめは、2階のスタディールームBです。1人用の仕切りがついたキャレルデスクなので、前の席からも横の席からも干渉されることはありません。静かに勉強したい方、集中したい方に絶好のスペースです。さらに自分だけの空間で勉強したい方には完全個室のキャレルを6室ご用意しています。キャレルの使用には申込みが必要なので、カウンターで申

込をしてカギを借りてご利用ください。

もし友達と一緒に話し合いながら勉強したいなら、LCフロアがおすすめです。閲覧席としての利用の他に、自主的なグループ学習やゼミの活動にも利用できます。何より、3面が窓になっていて、静岡市近郊の山々から富士山までを一望できる快適な空間です。設備としてホワイトボード5台、カウンター席16席、移動可能な机と椅子を60席用意しており、多様な用途に対応できます。中でもファミレストाइプのソファ席が人気です。

そのほか利用者が少ない書庫の閲覧席や、1・2階閲覧室の奥まった場所にある隅っこ席も人気があります。あなたも草薙図書館のお気に入りのスペースを見つけてははいかがでしょうか。



## 私の一冊の本

紹介者 食品栄養科学部・環境生命科学科 准教授 田村 謙太郎  
紹介図書 エンド・オブ・ライフ



著者：佐々涼子  
出版社：集英社  
出版年：2020年  
ISBN：9784797673814  
請求記号：916//Sa 71

あなた自身やあなたの大切な家族や友人が最期を迎える時、いつでもどのように向き合いますか。

本書は、ノンフィクション作家である著者が7年もの歳月をかけて在宅医療の現場取材したルポルタージュです。終末期医療における患者とその家族、医療従事者の姿が生々しく描かれています。物語の中心となるのは、京都の診療所で訪問看護師として働く森山

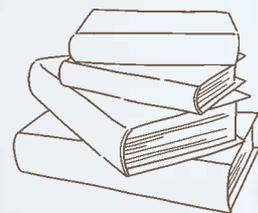
文則さん。彼はこれまで200人以上の患者を自宅で看取ってきた「看取りのプロフェッショナル」です。しかし、ある日、彼自身がステージ4の膵臓がんであると宣告され、「看取る側」から「看取られる側」になります。

「死」というテーマは重く、避けてしまいがちですが、本書が描き出すのは、決して暗く悲しいだけの物語ではありません。例えば、「死ぬ前に家族と潮干狩りに行きたい」という末期がん患者さんの最後の願いを、医療チームがどうにかして叶えようと準備奮闘するエピソードが紹介されています。住み慣れた自宅で最期の時間を過ごす「在宅医療」の現場では、単に延命を目指す「治す医療」だけではなく、患者さんが自分らしく生き抜くことを支える「治し支える医療」が実践されています。そこには、患者さんと家族、そして医療従事者との間に悩ましい葛藤とそして温かい心の交流があります。

「看取りのプロ」であった森山さんでさえ、自身の死をすぐには受け

入れられず、死期が迫るとともに心が大きく揺れ動きます。その等身大の姿は、私たちに「死の受容」の複雑さと、それでもなお希望を見出したい人間の脆さを教えてくれます。彼は最期の日々を家族と共に過ごします。その姿は、理想の「命の閉じ方」とは何かを静かに問いかけてきます。

いつか必ず訪れる「死」について考えることは、家族や友人といった大切な人々との関わり方を見つめ直し、残された人々の人生について考える多くのきっかけを与えてくれます。





# 奨学金授与式が行われました



本学では有意義な学生生活を支援していくために、  
地元企業等の奨学団体の協力による各種奨学金制度を活用しています。  
今年度は、地域の地元企業9社から計30名の学生が奨学金をいただきました。  
2025年7月から10月までの間に奨学金授与式が執り行われました。

## 「静清信用金庫奨学金」授与式

7月3日

- 加藤 大介 薬学部 6年
- 影山 実結 看護学部 2年

## 「村上奨学財団奨学金」授与式

9月5日

- 内山瑚々杏 食品栄養科学部 2年
- 鈴木 朱莉 国際関係学部 2年
- 芹澤 優月 経営情報学部 2年

## 「ロッキー奨学金」授与式

7月29日

- 芹澤 未来 薬学部 6年
- 増田ひなの 薬学部 4年
- 飯田 陸斗 看護学部 4年

## 「自然の恵み財団奨学金」授与式

9月11日

- 多久田媛風 食品栄養科学部 1年

## 「エンケイ財団奨学金」交流会

9月4日

- 武田かのん 薬食生命科学総合学府 博士前期課程 1年
- 水野 広喜 薬学部 6年
- 滝波 恵梨 食品栄養科学部 4年
- 影山 実結 看護学部 2年
- AYE THIRI MON (エー ティリ モン) 経営情報学部 1年
- HO THI MY DUYEN (ホ ティミー ユエン) 薬食生命科学総合学府 博士後期課程 1年
- THIRI HLAING (ティリ ライン) 薬食生命科学総合学府 博士後期課程 1年

## 「天野回漕店奨学金」授与式

9月26日

- 神池 陸人 国際関係学部 3年
- NGHIEM NHAT HA (ギェム ニャット ハ) 国際関係学部 3年



## 「スルガ奨学財団奨学金」

- CHO CHANG GYU (チョ チャン ギュ) 国際関係学部 3年
- 吉田 ルナ 国際関係学部 1年

## 「Sun&Sun総合保険奨学金」

- 西家 杏樹 薬学部 5年
- 石井 大翔 経営情報学部 3年
- 高見 陸太 経営情報学部 3年
- 宮井 隼 食品栄養科学部 2年
- 西村 優杏 国際関係学部 1年

## 地元企業等による本学学生への奨学金

奨学金名称	給付金額	支給期間	応募資格	令和7年度採用人数
静清信用金庫奨学金	月額5万円	1年間	静岡県内出身の学部生	日本人2人
静岡ガス奨学金	月額5万円	1年間	学部生・大学院生	採用無し
ロッキー奨学金	年額20万円	一時金	静岡県内在住もしくは勤務する勤労者の子弟で2年生以上の者	日本人3人
東海澱粉国際交流奨学基金	月額4万円	1年間	アジアからの留学生のうち、修士課程または博士課程大学院生	応募無し
天野回漕店奨学金	月額5万円	1年間	学部2~3年生のうち日本人学生または東南アジア・中国からの留学生	日本人1人、留学生1人
村上奨学財団奨学金	月額3万円	1年間	学部2年生	日本人3人
エンケイ財団奨学金	月額2万円	1年間	日本人学生・アセアン諸国等からの留学生	日本人4人、留学生3人
自然の恵み財団奨学金	月額3万円	1年間	食品栄養科学部の1年生	日本人1人
スルガ奨学財団奨学金	月額5万円	1年間	学部3年生の留学生	留学生1人
ピヨンス国際育英財団奨学金	月額1万円	1~4年間	35歳以下の留学生	応募無し
Sun&Sun総合保険奨学金	月額3万円	1年間	日本人学生	日本人5人
TOKAIグループ富士山育英財団	月額5万円	1年間	学部生・大学院生	採用無し
静岡イノベーション奨学事業団	月額2万円	1年間	学部生・大学院生	日本人5名、留学生1名

## 教員活動評価における 業績優秀者への学長表彰

静岡県立大学では、教員の教育研究活動等の一層の向上を図ることを目的として、教員活動評価を実施しています。2025年12月11日、2024年度(令和6年度)実績の教員活動評価における業績優秀者13人に対して学長表彰を行いました。

学部等	職位	氏名
薬学部 薬学研究院	教授	渡辺 賢二
	准教授	高橋 忠伸
	准教授	刀坂 泰史
	助教	山田 幸平
食品栄養科学部 食品栄養環境科学研究院	教授	熊澤 茂則
	准教授	田村謙太郎
	助教	野呂 和嗣
国際関係学部 国際関係学研究科	教授	米野みちよ
	准教授	石川 義道
	講師	二羽 泰子
経営情報学部 経営情報イノベーション研究科	准教授	井本 智明
短期大学部	准教授	竹下 典子
	助教	中村 和美

学位記授与式・入学式を次の日程で開催いたします。

### 令和7年度 学位記授与式(卒業式・修了式)

開催日 令和8年3月17日(火)

### 令和8年度 入学式

開催日 令和8年4月9日(木)

開場 午前9時10分

着席 午前9時45分

開式 午前10時

会場 グランシップ大ホール 海

静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

(最寄駅 JR 東静岡駅 徒歩5分)

※保証人(保護者)席を用意しておりますので、ご列席ください。

問い合わせ先

TEL 054-264-5009 (学生室)

### 静岡県立大学おおぞら基金に寄付をいただいた皆様 (令和7年1月~令和7年12月)

富永 昌彦、株式会社県大文化通信、株式会社静岡県立大学販売協力会、山本 六三、静岡県立大学後援会、静岡県立大学短期大学部後援会、永倉 みゆき、井上 健一郎、船岡 利枝子、看護学部後援会、薬学部後援会、食品栄養科学部後援会、国際関係学部後援会、経営情報学部後援会、浜 瑞紀、鈴木 和香子、一般社団法人静岡県立大学連合学友会、小林 みどり、山田 真幸、柘植 博子

※3千円以上、敬称略、寄附日の順、匿名希望4名

## はばたき

152号 2026年2月28日発行  
発行元/静岡県立大学広報委員会

- 静岡県立大学 教育研究推進部広報・企画室
- 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
- TEL/054-264-5130 ■FAX/054-264-5099
- E-mail/koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
- URL <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

次号153号は2026年8月の発行予定です。



### ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほか卒業生に関する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。



広告

# 県大生応援キャンペーン!!

**2026年** (お申込時にこの冊子をご持参下さい)

**3/1日~4/30日**までに  
お申込の方に  
**5,000円分の**  
**Amazonギフト券を**  
**プレゼント!** ¥5,000

※上記景品は本誌を提示された方に限り有効です  
※普通自動車で入校の方が対象です  
※限定解除の方は対象外とさせていただきます ※ギフト券は1段階修了後にお渡します

**古庄は** **特典がいっぱい**

学科はオンラインで受講

再検定料一切不要

技能オーバー無制限保証

スケジュール無料作成

免許は取ったけどしばらく  
乗ってないから運転が不安で...

**卒業生特典**  
**ペーパードライバー講習**  
**1時間無料**  
※普通車のみ：2・3・8月を除く

お申込みは **0120-155-168** 携帯からもOK  
※チラシを見たお伝えください

**公認 古庄自動車学校**

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号  
TEL.054-261-1551 FAX.054-264-0940  
<http://www.flushyou.co.jp>  
E-mail: main@flushyou.co.jp

古庄自動車学校  
静岡駅前より徒歩5分

静岡駅徒歩18分の  
高品質なのに  
お求めやすい  
**着物レンタル専門店**

「来店予約制となります」

**2026年1月17日**  
**予約開始!**

**POINT**

県大生に  
毎年好評の  
便利な  
卒業式袴  
レンタルは  
**2026年6月頃**  
予約開始予定!

# 成人式 振袖 RENTAL

**成人式  
男性袴  
RENTAL**

**京都むらまつ**

店舗 静岡市葵区馬場町25-2 (静岡駅徒歩18分)  
営業 09:30-17:00来店予約制 (水曜定休)

☎ **0120-144081** **京都むらまつ**